



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北海道大学経済学部教官 研究業績一覧(昭和54年度)
Citation	北海道大学 経済学研究, 30(2), 313-316
Issue Date	1980-06
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/31506
Type	other
File Information	30(2)_P313-316.pdf



北海道大学経済学部教官 研究業績一覧

(昭和54年度)

《著書》

- 唐 渡 興 宣 『世界市場恐慌論』(新評論 1979年6月)
 小 林 好 宏 『企業集団の分析』(北海道大学図書刊行会 1980年3月)
 『現代経済学の政策論』(三浦収と共編)(新評論 1980年3月)
 長 岡 新 吉 『産業革命』(教育社 1979年4月)
 吉 田 文 和 『日本のエネルギー問題』(木原正雄他と共著)(第5章「石炭エネルギー」を佐藤一彦, 吉田正夫と分担執筆, 大月書店 1980年3月)

《論文・研究ノート等》

- 荒 又 重 雄 「賃金変動計量分析の批判」(『賃金と社会保障』No. 775, No. 777, 1979年8月, 9月)
 「『90日支給運動』と雇用促進給付金制度改善」(『賃金と社会保障』No. 776, 1979年8月)
 「帝政ロシア『工場監督官報告集成』分析」(第6報)(北海道大学『経済学研究』第29巻第4号 1979年11月)
 「1863年農村労働者雇用臨時規則と1870年労働者後見協会案」(同上 第30巻第1号 1980年3月)
 「社会政策学と賃労働論」(季刊労働法別冊5号『社会政策』1979年5月 所収)
 早 川 泰 正 「過剰投資説と現代」(佐藤和夫, 柴田義人編『現代経済学の理論』新評論 1979年10月 所収)
 「低成長下における企業の投資行動」(北海道大学『経済学研究』第29巻第4号 1979年11月)
 「景気循環論」(東洋経済新報社刊『経済学大辞典』第1巻 1980年1月 所収)
 早 川 豊 「CASB 原価計算基準の問題点」(『会計』1979年4月号)
 「多国籍企業の Transfer Pricing の問題点」(北海道大学『経済学研究』第29巻第2号 1979年5月)
 「西ドイツ現行会計実務の問題点」(同上 第29巻第3号 1979年8月)
 「CASB の減価償却基準の問題点」(『原価計算』1979年12月号)

- 林 善 茂 「北海道の踏鋤と 踏鋤農法」(『民族学研究』44巻1号 1979年6月)
- 石 坂 昭 雄 “Bibliography on the Protestantism-Capitalism Controversy” (*Hokudai Economic Papers*, Vol. VIII, September 1979.)
 「プロテスタンティズム—資本主義論争」をめぐる戦後の研究動向——ヘルベルト・リューティの所説を中心に——(北海道大学『経済学研究』第30巻第1号 1980年3月)
- 岩 崎 俊 夫 「数理科学的経済分析と計画法の方法論的特質—モデル・システム・計画化」(岩崎允胤編『科学の方法と社会認識』汐文社 1979年7月 所収)
 「産業連関論的経済分析の有効性について」(北海道大学『経済学研究』第29巻第3号 1979年8月)
 「産業連関分析と経済予測——RAS方式による投入係数修正の妥当性について」(同上 第30巻第1号 1980年3月)
 「経済効率と社会主義的生産」(『日ソ経済調査資料』567号 1979年7月)
- 加 来 祥 男 「ドイツ化学工業における独占体の成立」(1)(北海道大学『経済学研究』第30巻第1号 1980年3月)
- 上 条 勇 「ドイツ11月革命とヒルファディングの社会化論」(1)(北海道大学『経済学研究』第29巻第3号 1979年8月)
 “R. Hilferding nach „Das Finanzkapital“” (*Hokudai Economic Papers*, Vol. VIII, September 1979.)
- 唐 渡 興 宣 「価値と生産価格」(北海道大学『経済学研究』第29巻第3号 1979年8月)
 [書評]「久留間鮫造編『マルクス経済学レキシコン 11 貨幣 1』第11期の刊行によせて」(『週間読書人』1979年12月3日号)
- 小 林 好 宏 “Size Distribution of Shareholdings and Managerial Behavior in Group of Firms” (*Hokudai Economic Papers*, Vol. VIII, September 1979.)
 「マクロ的分配理論と限界生産力説」(佐藤和夫・柴田義人編『現代経済学の理論』新評論 1979年10月 所収)
 「プロ野球の経済分析」(『経済セミナー』1979年5月号)
- 是 永 純 弘 「「政策科学」は可能か」(『現代と思想』No. 36, 1979年6月)
- 黒 田 重 雄 「消費者行動理論とマーケティング——理論経済学の応用に関する一考察——」(小林好宏・三浦収編『現代経済学の政策論』新評論 1980年3月 所収)

- 「商業環境と地域性——消費者意識調査による予備的研究——」(北海道大学『経済学研究』第30巻第1号 1980年3月)
- 真 野 脩 「バーナードの管理者教育論」(北海道大学『経済学研究』第30巻第1号 1980年3月)
- 松 井 安 信 「金融政策」, 「金利政策」, 「公開市場操作」, 「支払準備率操作」(『大月 経済学辞典』1979年4月 所収)
「金銀比価」, 「貨幣発達史」(岩波書店刊『経済学辞典』(改訂)第2版 1979年6月 所収)
- 森 杲 「アメリカ資本主義史における現段階」(一橋大学経済研究所『経済学研究』第30巻第2号 1979年4月)
「ニューヨーク・セントラル鉄道会社の成立」(北海道大学『経済学研究』第29巻第3号 1979年8月)
「大量生産体制の歴史的 성격」(同上 第29巻第4号 1979年11月)
- 村 岡 伸 秋 「紹介」「中国農業近代化をめぐる調整期の一論文」(北海道大学『経済学研究』第30巻第1号 1980年3月)
- 長 岡 新 吉 「「二重の帝国主義」論の成立」(1)(北海道大学『経済学研究』第30巻第1号 1980年3月)
「日本資本主義の発展と札幌農学校——農業経済学専攻学生の卒業論文テーマを中心に——」(『日本近代史における札幌農学校の研究』(昭和54年度文部省科学研究費研究成果報告)1980年3月)
- 中 村 通 義 「帝国主義段階論について」(1)(北海道大学『経済学研究』第30巻第1号 1980年3月)
- 佐 藤 茂 行 「『社会主義と国家』を読んで」(H. ケルゼン『プラトニック・ラブ』(H. ケルゼン選集 10) 木鐸社 1979年6月 所収)
- 関 口 恭 毅 「0-1 整数計画法のファセットについて」(北海道大学『経済学研究』第30巻第1号 1980年3月)
- 田 中 慎 一 「新渡戸稲造について」(北海道大学百年史編集室『北大百年史編集ニュース』第9号 1979年6月)
- 所 哲 也 「低開発経済の発展戦略」(佐藤和夫・柴田義人編『現代経済学の理論』新評論 1979年10月 所収)
〔資料〕「北海道と北欧四か国」(北海道大学『経済学研究』第30巻第1号 1980年3月)
- 富 森 虔 児 「金融資本概念と財閥——柴垣和夫氏に再度答えて——」(『社会科学の方法』127号 1980年1月)
- 内 田 和 男 「生産の理論と不確実性」(佐藤和夫・柴田義人編『現代経済学の理論』新評論 1979年10月 所収)

「2部門ケインズモデルにおける有効需要政策」(北海道大学『経済学研究』第30巻第1号 1980年3月)

吉田文和 「マルクスの Stoffwechsel 論」(北海道大学『経済学研究』第29巻第2号 1979年5月)

「生産力と生産力破壊」(同上 第29巻第3号 1979年8月)

「マルクス主義における自然・人間・技術」(同上 第29巻第4号 1979年11月)

「『無償の自然力』と資源・環境問題」(同上 第29巻第3号 1979年8月)

「社会的費用論の批判的検討」(同上 第29巻第4号 1979年11月)

《翻訳》

是永純弘 [監訳]「イ・マールイー著『資本論』と統計」И. Малый, Вопросы Статистики в "Капитале" Карла Маркса, 1967. (大月書店双書『マルクス主義と統計』[1] 1980年2月)

吉田文和 「ソ連における『技術の発展の内的法則性』論——ユー・エス・メレンチェンコの所説——」Ю. С. Мелешенко, Внутренние закономерности развития техники. (北海道大学『経済学研究』第30巻第1号 1980年3月)